

日本インターネットガバナンス
フォーラム2024
(Day 3 企画セッション)

日本における国内IGF活動の
今後

2024年11月7日

加藤幹之

NRIとは [IGFの公式パンフレット（日本語版）参照](#) [インターネット・ガバナンス・フォーラム](#) [国、地域、より狭い地域、及び若者\(ユース\)のIGFへの取組み](#)

- 2006年の第一回アテネ会合以降、IGFは毎年各地で開催され、2024年12月のリヤド会合で19回目を迎える。
- IGF活動は国連主催の年次総会だけでなく、各地域(regional)各国(national)でも、いろいろな活動を行っている。これらを合わせて”NRI” (National and Regional IGF)と呼び、2024年現在168以上のNRIが国連事務局に承認されている。
- NRI成立の要件として、年次会合の計画と実施、マルチステークホルダーで組織すること等が規定されている。 [NRIs Toolkit | Internet Governance Forum](#)

日本でのIGF活動の現状

- それまでのいろいろな活動を踏まえて、2021年5月に「IGF 2023に向けた国内IGF活動活発化チーム」が結成された。
<https://japanigf.jp/about/igf-2023igf>
- 日本でのNRIの位置付け。 [Top :: JapanIGF](#)
- 活発化チームでは、これまで、（1）3～4週間ごとに各回1～2時間程度の連絡会（IGFや関連する活動の情報や意見交換）、（2）年次総会企画と開催、を中心に活動してきた。
- NRIコーディネータとして、山崎信、河内淳子、加藤幹之が分担協力して活動している。
- 政府（総務省）も常に活動に参加し、情報提供をいただいている。

現状の課題と解決案～法人化の動き

- 2023年10月のIGF京都会議は、過去最大の参加者を迎え、大きな盛り上がりを見せ、成功裏に終わった。
- このモメンタムを維持し、さらに永続的な活動としたい。
- しかし、過去10数年、日本でのIGF活動の主要メンバーは変わらない。活動の拡大化ができない。若い世代等、新しい参加者が集まらない。
- 費用負担の仕組みが無く、ボランティアに頼っている。正式な事務局機能が無く、やはりJPNICを中心としたボランティアにとどまっている。
- 後援名義、寄付の受け入れ等には、法人化（法人名義）が必要。
- 法人化によって、企業や他の団体からの支援を受けやすくし、活動の拡大が期待できると思われる。

日本もIGFの議論に積極的に参加すべき

- AIの急速な進歩や知識社会の伸展の中で、インターネットは社会の重要なインフラとなって久しい
- しかし、セキュリティー、虚偽情報、個人情報や知的財産権の侵害、表現の自由等の人権保護等、広範な制度的問題が存在し、さらに拡大している
- これらは日本だけで解決できないグローバルな問題。近年、インターネットの分断問題に見られるように、地政学的課題も山積している。
- 諸外国は、より積極的にIGFの議論に参加している。欧米だけでなくBRICsや途上国の参加も増え、アジアでも参加が増えている。日本のリーダーシップが期待される
- IGFは、話し合いの場であり、決議組織ではないが、dynamic coalition等、意見形成の仕組みができつつある
- ビジネス界にとっても、IGFの取り扱う問題はビジネスのルール作りの問題でもあり、情報収集・意見発信が重要

現在の法人化案の概要

- 目的:インターネットの仕組や構造、運営等に関する制度や体制、インターネットを活用したデジタル社会の様々な制度、体制や運営等等（以下「インターネットガバナンス」という。）の在り方や課題、その解決策等について、さまざまな利害関係者が自由に参加し、闊達な議論ができる場を提供することその他の必要な活動を行うことにより、インターネットを前提とした社会において、その基盤やサービス等の持続的な提供や運営の確保その他の国民利用者の利益並びに我が国及び世界の社会の発展に貢献することを目的とする
- マルチステークホルダーの参加を前提とし、誰もが自由に参加及び発言でき、活動は公開するというIGFの基本方針を維持する

今後の日本IGF活動の提案

- インターネットを取り巻く課題の検討・議論の場 => 3~4週ごとの連絡会に加え、1時間程度の講師スピーチと質疑の場を設置
- NRIとしての日本IGFとNRIコーディネータを再確認して、国連事務局に通知
- 会員募集や啓蒙活動を通じて、活動の参加者を拡大。特にユースの活動の場を重視する。
- 事務局機能の充実
- 他にもまだまだありますよね！

Let's Discuss